

# 役所窓口での順番待ち予約のためのLINEミニアプリ

ユーザーメリット：役所に行く前に、事前に各窓口の混雑状況の確認が可能。  
順番が近づくとLINEで呼び出し通知を受け取れるので、密にならず時間を有効活用することが可能。  
なおLINEを利用していない方は、電話で呼び出し通知を受け取ることも可能。

自治体メリット：混雑時の受付や案内業務の軽減、受付オペレーションの効率化、省人化。コロナ感染リスクの減少。



LINE公式アカウントや  
自治体ホームページ  
入口のQR POPなどから  
簡単アクセス！

LINE公式アカウントの  
友だち獲得も可能！

わずか数タップで  
受付完了

ミニアプリ専用通知は  
ブロック不可なので  
確実に通知が可能！

# FAQ

Q：既に導入している現行の順番待ち発券システムを使用しつつ、一部の窓口でのみそのサービスを使うことは可能か。

A：可能です。導入例としましては、今ある窓口のうち、一部の窓口（3窓口まで）をLINE順番待ちシステム専用の窓口とし、その窓口における順番待ちシステムに本サービスをご利用いただく、等が考えられます。

窓口の順番待ちを本サービスに一本化いただくことも可能ですが、システムの差し替えが必要となりますことに加え、無償対象である1ライセンス=3窓口を超える場合は別途費用が発生します。詳しくはお問い合わせください。

Q：無償期間中は費用は全くかからないと考えてよいか。

A：整理券印刷にロール紙が必要となり、こちらは消耗品のため都度購入が必要です（目安：1ロール300円／500枚程度）。

また呼び出し通知は、LINEの他、電話でも呼び出しを行うことが可能ですが、電話については従量課金となります（30円／1回）。

受付用のタブレット端末及び整理券を発行するプリンタについては、無償期間中はレンタルという形で1セット（各1台ずつ）、ご用意させていただきます。無償期間中はレンタル料もかかりません。無償期間終了後については、別途新規にご購入いただくか、そのままそれらの端末をご利用いただくこととなりますが、後者の場合は、通常の利用料に加えてレンタル費用（月額5,000円）を頂戴いたします。

Q：導入に際して、端末などが設置されるのか。

A：受付用のタブレット端末及び整理券を発行するプリンタの2点を設置します。

# FAQ

Q：無償期間終了以降のコストはどれくらいかかるのか。

A：1アカウント（ベーシックプランの場合）、初期費用が15,000円、月額費用が10,000円です。  
アカウントの考え方などについて、詳しくはお問い合わせください。

Q：選定後、どのようなスキームで、どれくらいの期間で導入されるのか。

A：事業者との間で契約を締結いただき、運用ヒアリング、設定、運用説明等を経て導入、という流れです。  
概ね3週間程度の期間をみていただければと思います。